

1月4日（木曜日）

（第695号）

令和6年（2024年）

# 全木連時報



木材産業シンボルマーク

発行所

一般社団法人 全国木材組合連合会

所在地 東京都千代田区永田町 2-4-3

☎ 03(3580)3215

URL <http://www.zenmoku.jp>

謹  
賀  
新  
年



# 年頭のご挨拶

一般社団法人全国木材組合連合会

会長 菅野 康 則



新年あけましておめでとうございませう。旧年中は、皆様方には本会の運営に格別のご理解、ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、昨年は我が国の社会経済がコロナ禍の3年間を乗り越え、平時への移行が進みつつある一方で、ロシアによるウクライナ侵攻等を契機にした世界インフレと金利上昇に、追い打ちをかけるイスラエルのガザ侵攻などにより、過度な円安を引き起こし、消費者物価が上昇しました。脱インフレの期待が大きくなる一方、住宅建設や木材産業には、世界的な需要減退による現地価格の低下、国内では輸入木材の値下がりによる在庫損の発生、住宅着工の減少に木材需

要の減少と林業・木材産業にとりましては大変厳しい一年となりました。

反面、経済安全保障の観点から輸入木材依存も見直しされ、徐々に木材自給率が40%を超え、供給への期待の高まりも見られるところでは、人工林資源が成熟を迎え、温暖化防止、2050年カーボンニュートラルの実現、持続可能な森林資源の利用、地域経済への貢献など、社会からの様々な期待に応えるため、国産材の利用拡大が益々重要になっていきます。

全木連では、「ウッドファースト社会」の実現に向け、「伐って、使って、植えて、育てる」をスローガンに、他の森林・林業・木材産業関係団体とともに、持続性の確保された国産材の原木及び製品の生産、流通及び利用を促進し、木材利用の拡大に取り組んでまいりました。

また、「都市（まち）の木造化推進法」のもと、都市部においても木造による中高層ビル、非住宅、商用・事業用施設等の建設が全国各地で着実に進んでおり、新しい市場が拡大しつつあ

るところです。一方で、人口減や建築コストの上昇、大工不足、電気や燃油の高騰など木材業界の厳しい経営環境も継続しています。

これらの課題を解決しつつ、国産材に求められる品質や生産技術の向上、需要に応じた供給が可能なサプライチェーンの構築などの取組が重要と考えています。

更に、昨年「クリーンウッド法」が改正・強化され、合法性が確認された木材を生産・流通・消費するための取組も益々重要になっていきます。

さて、今年の干支は甲辰（きのえ・たつ）です。「甲」には、「生命や物事の始まり」「辰」には「草木が伸長し、形が整い活気にあふれる様子」という意味があり、これから活力旺盛になって大きく成長し、形が整う年になると言えます。

全木連としては、「ウッドファースト社会」＝木造や木質化が当たり前となって、林業・木材産業界が登り龍の如く隆盛しますよう努力してまいりますので、皆様方の一層のご支援をお願い申し上げます。

本年が皆様方にとりまして素晴らしい一年となりますことをご祈念申し上げます、新年のご挨拶といたします。

## 令和5年度 木材利用優良施設等コンクール(内閣総理大臣賞) 岡山大学共育共創コモンズ(OUX:オークス)(岡山県岡山市)

### <施設概要>

「地域の産業活性化」に向けて、岡山県が国内最大の生産能力を有するCLTを活用し、国内最大級となるスパン18mの大空間や1、2階で自由なパネル配置を実現するなど、木技術の高い木材業者の協働により創り上げられた当施設は、CLTの空間構造の可能性を拡張しています。

可能な限り構造部材を現しとし、教材として建物の仕組みが見えるよう計画されており、また、施工期間中から現場見学会やマスコミへの現場公開を行うとともに、竣工後は学会誌への発表等の情報発信により木質建築及びCLT建築の普及に大いに貢献しています。



建物外観



建物内観(教室)

### 第五十八回全国木材産業振興大会(鹿児島大会)

期日：令和6年10月31日(木)

場所：鹿児島市民ホール(鹿児島市)

☆木材利用促進のため、大勢の参加で大会を盛り上げよう!



# 年頭のご挨拶

全国木材協同組合連合会

会長 松原 正和



新年おめでとうございます。輝かしい新年の年頭に当たり一言ご挨拶申し上げます。皆様方には本会の業務運営にご支援とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、昨年はコロナ禍から平時への移行が進む一方で、物価の高騰や円安などの影響が前年に引き続き国民生活に大きく現れた年となりました。

また、6月末から7月にかけて記録的な大雨となるとともに、7月から9月にかけては、北日本をはじめ多くの地域で統計開始以降最も高い気温が観測され、世界的にも年間を通じた平均気温が過去最高を更新することとなりました。自然災害の増加に加え、農作物、自然環境や産業・生活環境全般に対する地球温暖化の影響が顕著に感じられる年

であったと思います。

我が国では、「2050年カーボンニュートラル」を目標に掲げ、森林・林業・木材産業分野では、「伐って、使って、植えて、育てる」という森林資源の循環利用を進め、木材利用を推進することにより、地球温暖化防止に貢献する取組を進めているところです。

最近では、民間の木造中高層ビルを目にする機会も増え、都市部においても森林や木材に対する理解や期待が高まってきていると考えます。木材利用の取組に対しては、このような強い追い風が吹いておりますが、この追い風を捉え国内の森林資源を有効に活用し、木材の持続的な利用を着実に進めていくためには、今後とも業界自らが率先した取組を進めていくことが大事であると考えます。

また、近年、SDGsへの関心やESG投資が拡大する中で、企業の社会的責任に対する世界の関心が高まっています。消費者へのPRも広く行われるようになり、地球環境保全に対する貢献、人権への配慮、製造過程における法令遵守などが投資先の判断や商品の選択で重視される要素になってきています。

木材がこのような社会の要請に応えられる再生可能な資源として期待されている今、合法性や持続的に経営されている森林からの産物であることが確認された木材を供給、利用していくことが、これからの木材産業にとって大変重要なことと考えます。

林野庁や国土交通省をはじめ国におかれても、都市部での木材利用、とりわけ国産材の活用に関する予算措置や施策の拡充等に取り組んでいただいているところです。

我が国の森林資源を有効に活用し、持続的な資源の循環利用、木材利用の推進を着実に進めていくためには、私ども業界自らが、木材が選ばれるよう品質・性能の確かなJAS製品等の供給、木材利用の推進の働きかけなどの取組を更に進めていかなければなりません。

全木協連では、木材利用促進のための利子助成やリースに対する支援、共同事業、共済事業、外構部の木質化対策支援事業などを推進しています。これらの事業を通じて木材事業者の体質を強化し、供給体制の整備などに全木連とも力を合わせ取り組んでまいりたいと考えておりますので、引き続きのご支援ご協力をお願い申し上げます。

結びに、本年が木材業界並びに皆様方にとりまして、明るい一年となりますよう心からお祈り申し上げます、新年のご挨拶といたします。

## 皆様に安心を提供する

# 全木連グループの各種保険制度

～ケガ・病気の入院などの備えに～

従業員のために中型グループ

総合賠償補償制度

【第三者への事故対策に!】

任意補償制度

【労働災害への対策に!】

経営者のために総合保障プラン

木退協

【従業員の退職金の準備に!】

### 第15回新たな「木材利用」事例発表会

日時：令和6年1月29日（水）13:30～16:00

場所：木材会館 7階ホール（江東区新木場）

主催：（一社）全国木材組合連合会

木材利用推進中央協議会

定員：一五〇名

（一般消費者、建築・設計、木材関係者等）

# 年頭所感

林野庁長官 青山豊久



新春を迎え、謹んで新年の御挨拶を申し上げます。

昨年6月、7月の大雨を始めとする自然災害が全国各地で発生し、甚大な被害が生じました。亡くなられた方々の御冥福をお祈りするとともに、被災された方々にお見舞いを申し上げます。また、被災地で復旧・復興に尽力されている関係者の皆様方の御努力に敬意を表するとともに、被災地の一日も早い復旧・復興に向けて全力で取り組んでまいります。

戦後我が国において造成してきた人工林の多くが利用期を迎えており、「伐って、使って、植えて、育てる」森林資源の循環利用のサイクルを確立し、20

50年カーボンニュートラルの実現と地域の林業・木材産業の成長産業化に貢献していくことが重要と考えています。

このため、林野庁では、路網の整備、搬出間伐の実施、再造林の低コスト化、高性能林業機械の導入、木材加工流通施設の整備、林業のデジタル化・イノベーション、JAS構造材やCLT等の建築物への利用促進等に努めていくこととしています。また、近年、これまでになく豪雨等による災害が頻発化・激甚化しており、防災・減災、国土強靱化のための森林整備や治山事業を着実に実施していくことがより一層重要になってくると考えています。

昨年10月、社会問題化している花粉症について関係閣僚会議が開かれ、「花粉症対策初期集中対応パッケージ」が決定されました。花粉症の原因で、有病率が最も高いスギ花粉を減少させるため、発生源であるスギ人工林の面積を10年後に約2割減少させることを目指し、その伐採・植替え等の加速化、スギ材需要の拡大、花粉の少ない苗木の生産拡大、林業の生産性向上及び

労働力の確保等を集中的に実施することが必要とされました。これらの施策に必要な予算を令和5年度補正予算で新たに措置したところであり、花粉症対策を着実に進めてまいります。

また、林業界における人手不足が課題となる中、作業現場における労働安全の確保に配慮しつつ、外国人材の受入れを進めていくことも重要です。林業については、現時点では1年間就業可能な技能実習1号のみが適用対象となっていますが、複数年の就業が可能な技能実習2号・3号、特定技能1号の適用対象に本年中に追加されるよう、引き続き業界団体の皆様とも連携し、取り組んでまいります。

これから我が国は、人口の減少・高齢化が加速化する局面を迎えます。これまで木材需要の大半を占めてきた住宅分野での国産材の利用促進に加えて、非住宅分野の公共建築物・中高層建築物の木造化・木質化を進め、国産材需要のさらなる拡大に努めてまいります。

また、近年、地球規模での温暖化防止対策として、温室効果ガスの排出削減を進める取組が活発化しています。国内ではJ-クレジット制度の活用が進むとともに、昨年10月には東京証券取引所にカーボン・クレジット市場が開設されました。森林についても、森林管理による温室

効果ガスの吸収量をクレジットとして認定する取組が進んでおり、令和5年の森林由来のJ-クレジットの認証量は昨年過去最高を記録いたしました。今後とも、森林分野での活用拡大に取り組んでまいります。

令和6年度は森林環境税の課税が開始され、森林環境譲与税の譲与額が約600億円に増額となる節目の年です。さらに、令和6年度税制改正では、森林整備を一層推進する観点から、森林環境譲与税の譲与基準が見直されることとなっています。国民の皆様は御負担いただくことの貴重な税を効果的に活用し、その取組の成果を積極的に示していくことが重要と考えており、林野庁としても活用促進に向けて各市町村に対するきめ細かなサポートや広報の取組強化を行ってまいります。

国有林については、山地災害の防止、地球温暖化防止や生物多様性の保全など森林の公益性に対する国民の期待が高まる中で、昨年12月に策定した国有林野の管理経営に関する基本計画に基づき、公益を重視した管理経営をより一層進めてまいります。

また、事業者が一定期間のうち安定的に樹木を採取できる「樹木採取権制度」が全国8か所で動き出しており、地域における効率的かつ安定的な林業経営

の育成を図るとともに、川中との連携を通して国産材のサプライチェーンの強化にも貢献してまいります。

令和7年4月に施行される「改正クリーンウッド法」については、合法伐採木材等の流通及び利用が促進されるよう、木材関連事業者だけでなく、広く消費者の皆様への御理解も頂く必要がありますので、関係者への周知等を行い、違法伐採対策の取組を強化してまいります。

林野庁としては、これらの取組を通じて森林・林業・木材産業を持続的に発展させ、また、我が国に暮らす全ての皆様、林産物の供給、国土の保全、水資源のかん養、二酸化炭素の吸収、生物多様性の保全など森林の有する多面的機能の恩恵を末永く享受できるように、日々邁進していく所存です。本年も、関係者の皆様、そして国民の皆様との御協力をお願いいたします。結びに、本年が、皆様一人ひとりにとって、実り多き素晴らしい一年になりますよう、心よりお祈り申し上げます。



# 令和5年 重大ニュース



5月

木造化推進議員連盟へJAS規格見直し検討状況の説明 5/17



3月

木造化推進議員連盟へ予算等の要望 3/29



財務省へ木造住宅の新築促進等の要望 8/18

8月



全木連等総会 5/25



記念講演（落語家 林家つる子） 10/19



10月

宮下農林水産大臣表敬 10/17





第57回全国木材産業振興大会（Gメッセ群馬） 10/19



厚生労働省から技能実習評価試験機関として認定 10/31



令和5年度木材利用優良施設等コンクール（内閣総理大臣賞） 10/30



国会議員への予算等の陳情 11/22



全木連、全木協連臨時総会 11/21

## 「全木連の事務所移転」のお知らせ

全木連は、永田町ビル（東京都千代田区）の建て替えに伴い、来年6月10日を目途に事務所を「全国町村議員会館」（東京都千代田区）に移転します。移転先の概要及び位置については以下の通りです。また、移転先の詳細内容（電話・FAX番号等）については決まりましたらお知らせします。会員の皆様、関係団体等の皆様にはご迷惑をおかけしますが、よろしくお願いたします。なお、移転に伴い、次の団体も同じ場所に移転します。

### ＜移転する団体名＞

全国木材協同組合連合会、（一社）木材産業退職金共済会、全国木材産業政治連盟、木材利用推進中央協議会、（一社）木材表示推進協議会、（一社）全国木造住宅機械プレカット協会、日本ツーバイフォーランバーJAS協議会、森林を活かす都市の木造化推進協議会

#### ◆移転先

全国町村議員会館（6階）  
〒102-0082 東京都千代田区一番町25番地

#### ◆アクセス 地下鉄

- ・地下鉄半蔵門線半蔵門駅  
4番出口徒歩1分（直結）  
3・5番出口徒歩2分
- ・地下鉄有楽町線麹町駅  
3番出口より徒歩6分

#### タクシー

- ・東京駅より約20分

（アクセスマップ）



好評発売中！

## 製材作業の入門書、外国人技能実習の参考書

#### ○ 製材作業の基礎

A4版 107頁程度 定価 3,000円（消費税込み）

##### ・主な内容

木材の性質から、製材作業の工程、木材乾燥、作業安全などについて分かりやすく解説。安全関係では「農林水産業・食品産業の作業安全のための規範」も収録。

##### ・執筆者等

坂部順昭氏（東京農工大学名誉教授）が推薦。桃原郁夫氏（森林総合研究所関西支所長）、村田光司氏（日本木材加工技術協会専務理事）、赤松明氏（ものづくり大学学長）外、製材関係の研究者・技術者陣が執筆。

#### ○ 木材加工・外国人技能実習100問（機械製材）

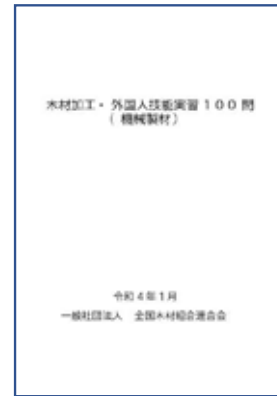
A4版 56頁程度 定価 2,000円（消費税込み）

##### ・主な内容

外国人技能実習に必要な木材や製材機械についての知識、製材作業や安全衛生を一問一答方式で取りまとめ、各章ごとに参考問題（1～2号実習生を対象）を掲載し、併せて機械製材作業の資料を収録。

##### ・執筆者等

全国木材組合連合会で「製材作業の基礎」を基本として、学識経験者（大学、森林総研、業界団体）の協力を得て編集。



（ご購入について）

全木連ホームページから購入申込書ダウンロードし、必要事項を記入の上、全国木材組合連合会 技能実習評価試験事務局にメール(ginou@zenmoku.jp)、もしくはFAX（03-3580-3226）にて注文してください。



# 景況調査

令和5年11月分集計表

（ ）内は実数

〔流通部門〕

モニター数140 回答91 回収率65%

当月の状況

販売量	増加19% (17)	変わらず54% (49)	減少27% (24)
仕入量	増加20% (18)	変わらず54% (49)	減少26% (23)
販売価格	上昇16% (14)	変わらず82% (74)	下降2% (2)
仕入価格	上昇26% (23)	変わらず68% (61)	下降7% (6)

来月の見通し

販売量	増加17% (15)	変わらず61% (65)	減少22% (20)
仕入量	増加18% (16)	変わらず62% (56)	減少20% (18)
販売価格	強含み12% (11)	保ち合い86% (77)	弱含み2% (2)
仕入価格	強含み18% (16)	保ち合い80% (72)	弱含み2% (2)

3ヵ月後相場予想	強含み	保ち合い	弱含み
米材	38% (25)	53% (35)	9% (6)
南洋材	11% (6)	80% (43)	9% (5)
北洋材 (欧州材を含む)	19% (11)	68% (39)	12% (7)
国産材	16% (13)	75% (60)	9% (7)
建材	16% (10)	76% (48)	8% (5)

プレカットの動向

発注後、加工までの待ち時間	1ヶ月以内	1ヶ月	1ヶ月以上
	44% (27)	52% (32)	5% (3)

〔製造部門〕

モニター数135 回答91 回収率67%

当月の状況

販売量	増加22% (20)	変わらず58% (52)	減少20% (18)
仕入量	増加19% (17)	変わらず62% (56)	減少19% (17)
販売価格	上昇14% (13)	変わらず80% (72)	下降6% (5)
仕入価格	上昇24% (22)	変わらず73% (66)	下降2% (2)

来月の見通し

販売量	増加14% (13)	変わらず64% (58)	減少21% (19)
仕入量	増加13% (12)	変わらず62% (56)	減少24% (22)
販売価格	強含み8% (7)	保ち合い88% (79)	弱含み4% (4)
仕入価格	強含み14% (13)	保ち合い84% (76)	弱含み1% (1)

3ヵ月後相場予想	強含み	保ち合い	弱含み
米材	46% (16)	37% (13)	17% (6)
南洋材	9% (2)	73% (16)	18% (4)
北洋材 (欧州材を含む)	19% (5)	70% (19)	11% (3)
国産材	19% (16)	58% (49)	24% (20)

プレカットの動向

受注後、加工までの待ち時間	1ヶ月以内	1ヶ月	1ヶ月以上
	38% (14)	56% (22)	8% (3)

## 林業信用保証のご案内

林業・木材産業の皆様の資金調達をサポートします！

例えば、

- ・従業員確保のための運転資金が必要
- ・老朽化した加工設備を入れ替えたい

ぜひ林業信用保証をご検討ください！

詳しくはこちらへ  
**独立行政法人農林漁業信用基金**  
 林業信用保証管理部 TEL03-3434-7825  
<https://www.jaffic.go.jp/guide/rin/index.html>

※ご利用には審査があります